

奈良県立橿原考古学研究所では、橿原市四条町の四条遺跡で、38回目の発掘調査（第38次調査）を実施しました。発掘調査の結果、(1) 藤原京の遺構、(2) 古墳（四条古墳群のうちの1基）、(3) 弥生時代から人が住んでいた痕跡、などがみつかりました。

発掘調査の場所は、奈良県立医科大学のグラウンドです。グラウンド敷地を3ヶ年の計画で調査してきました。今年はその最終年度です。これまでに、四条1号墳（全長約30mの方墳。濠の中からたくさんの木製品が出土。）や、藤原京の道路（四条大路、西六坊坊間路）と宅地（掘立柱建物や井戸など）、藤原京を造営する時の溝などがみつかりました。

今回の発掘調査では、藤原京関係の遺構が、さらに周辺に広がることを確認しました。それと同時に、今まで知られていなかった古墳がみつかるなど、新たな発見もありました。

(1) 藤原京の遺構

調査地は藤原京の右京五条六坊に該当します（表紙参照）。より詳しく言うと、ほぼ正方形の右京五条六坊の敷地は、北東・北西・南東・南西の四つの小さい敷地（坪）に区画されており、調査区はその北西坪と北東坪にまたがる位置にあります。

北西坪と北東坪を区画する南北の道路を、西六坊坊間路といいます。発掘調査では、西六坊大路の両側に掘られた側溝がみつかりました（前頁の①）。

また、調査地の北端には、幅約5mの大きな溝があります（溝9）。溝9が埋まった上に、藤原京を造営する際の地ならしの土が載っていました。そして、その土の上から、西六坊坊間路の側溝が掘られていました（前頁の②）。こうして、調査地での藤原京の造営の手順を改めて確認することができました。溝9は、藤原京の建設のための資材を運ぶのに使われたのかもしれませんが。

藤原京の時代の建物（前頁の④）や井戸（前頁の③）もみつかりました。これらは、宮仕えをした役人の住まいでしょう。

(2) 古墳

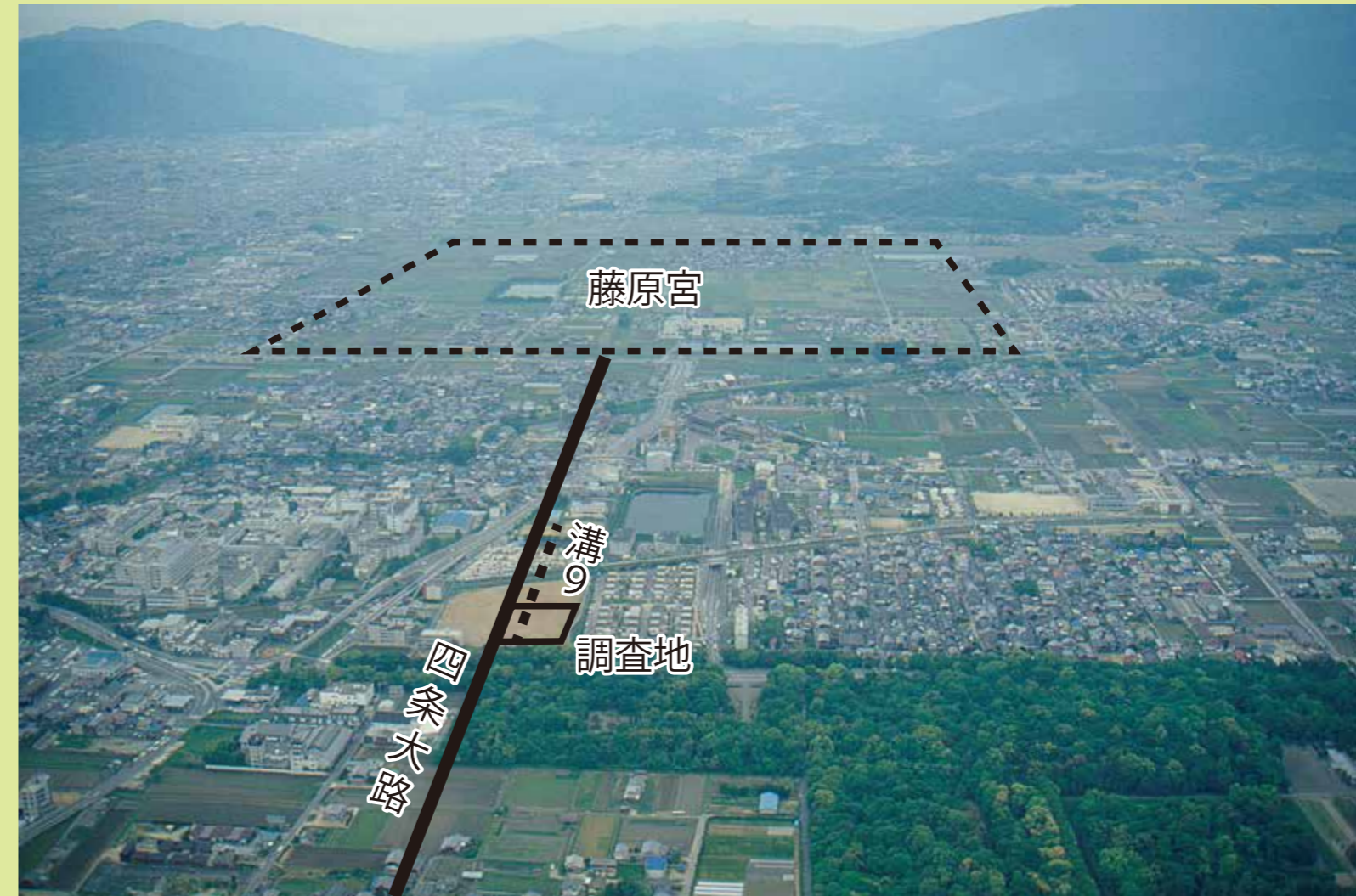
四条遺跡周辺では、これまでに13基の古墳がみつかりました。今回、新たに1基の古墳がみつかりました。直径約25mの円墳で、北西に「造り出し」（造り出しとは、葬送の儀式などを行う場所と考えられています。）があります。6世紀初めごろに造られた古墳です。

古墳の墳丘は、残っていませんでした。7世紀後半に藤原京が造られた際に、削られたものとみえます。古墳の濠からは、たくさんの埴輪が出土しました。円筒埴輪が多いですが、中には馬形の埴輪（前頁の⑥）や、家形の埴輪などもあります。

(3) 古墳よりもさらに古い遺構

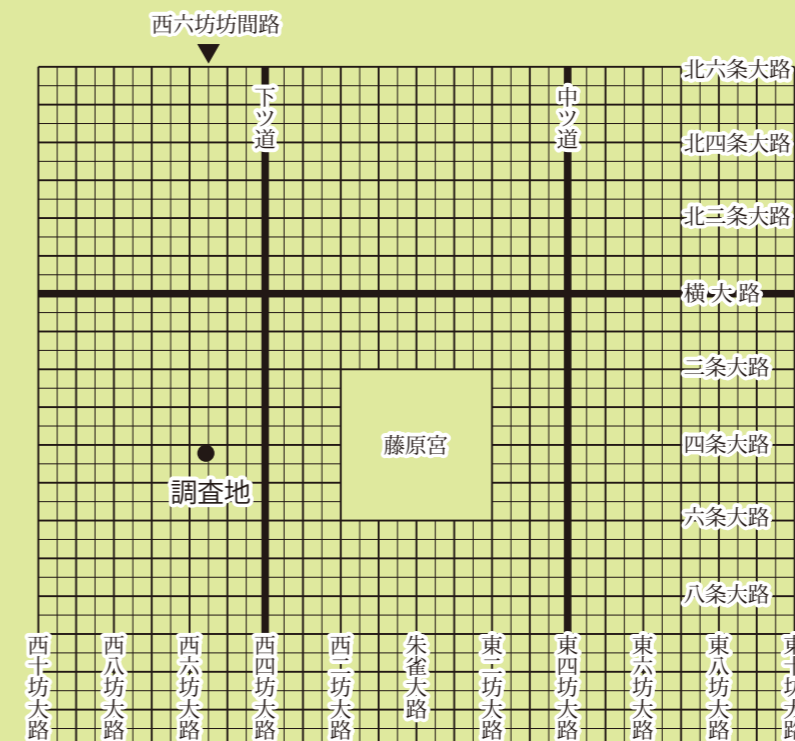
弥生時代中期の中ごろ（紀元前2世紀ごろ）と、古墳時代中期の初めごろ（5世紀初めごろ）の遺構がみつかりました。弥生時代の遺構は、井戸です（前頁の⑦）。素掘りの簡素な井戸ですが、現在でもこんこんと水が湧いています。この井戸を使った人々の住居がどこにあったかわかりませんが、近くに住まいを構えたことは間違いありません。

5世紀初めごろの遺構は、土器がたくさん出土した穴です（前頁の⑧）。土器は小さな壺と高杯が多いです。どうやら、この二種類の土器だけをわざわざ集めているようです。丁寧に作られた土器だけを選びすぐっているとすれば、特別な願いを込めた祈りを捧げたのかもしれませんが。



西上空から見た調査地（1990年撮影）

四条遺跡でみつかった四条大路は、東に位置する藤原宮の方へのびていきます。四条大路の南には、道路と同じ向きに大きな溝（溝9）が掘られていました。



藤原京は、694年から710年までの日本の都です。都の中は、左の図のように直線の道路で東西・南北に区画されていました。中心付近に藤原宮があり、その中の最も主要な建物が、大極殿です。

調査地は、藤原京右京五条六坊です。これは、藤原京内の位置の表し方で、藤原宮から南をみた場合の右手が右京、右京の五条大路より北側、かつ西六坊大路より東側の区画という意味です。





⑧古墳時代の土器がたくさん出土した穴 (No.152 土坑)
小さな壺と高杯がたくさん出土しました。選りすぐりの土器を集めたのかもしれませんが。



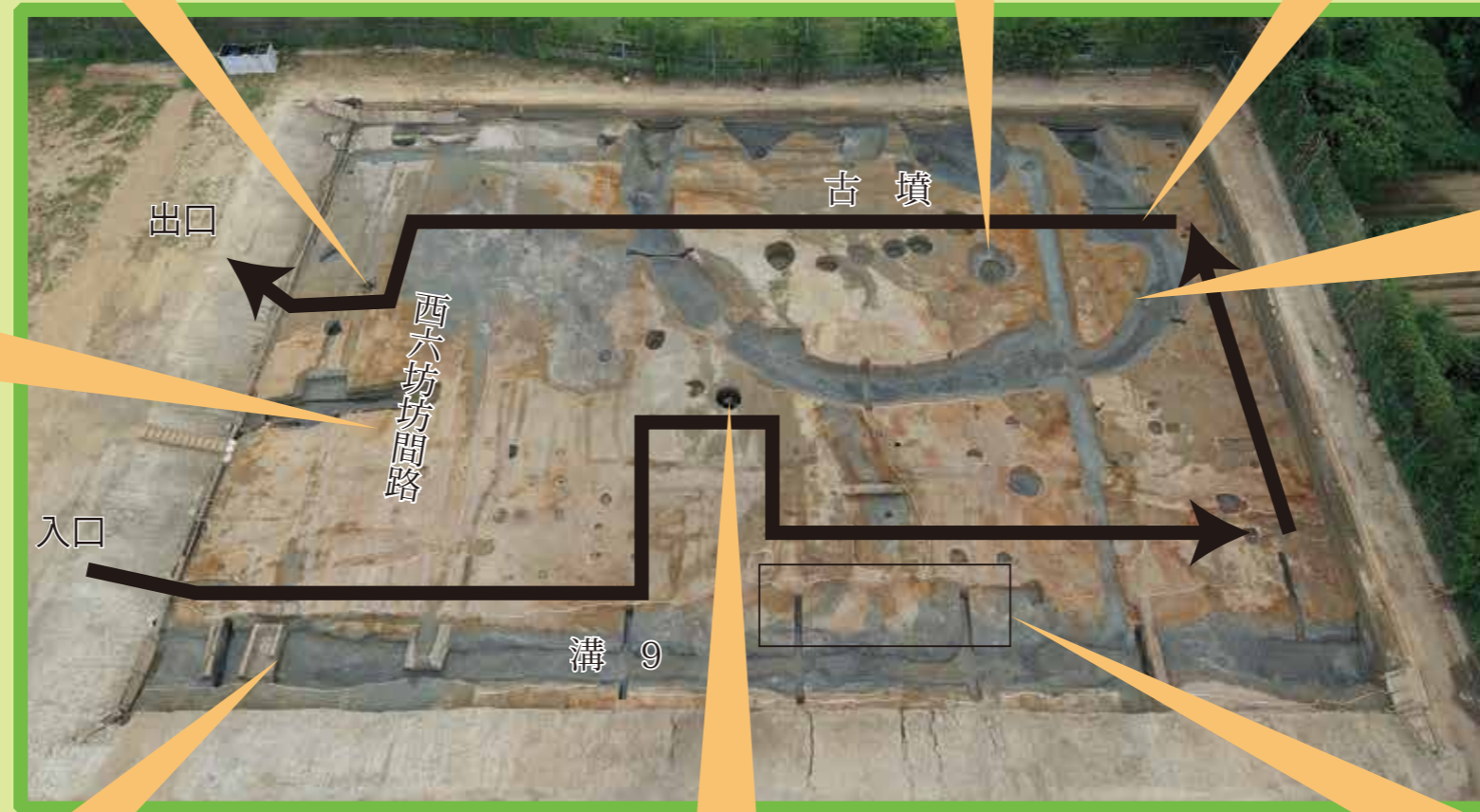
⑦弥生時代の井戸 (No.120 井戸)
井戸の中から、壺が割れずに出土しました。この土器も、展示コーナーでご覧いただけます。



⑥馬形埴輪
古墳の濠から、馬形埴輪の頭部が出土しました。展示コーナーでご覧ください。



①藤原京の西六坊坊間路
道路の両側の側溝がみつかりました。藤原京は、このようにまっすぐな道路で、東西・南北に区画されています。



⑤古墳の濠がみつかった時の様子
濠が、少し黒っぽい色の土で埋まっているのがわかります。



②藤原京の西六坊坊間路の側溝 (上の溝) と溝 9 (下の溝)
溝 9 の上を整地してから、西六坊坊間路の側溝が掘られたことがわかります。



③藤原京の井戸 (No.126 井戸)
藤原京で生活した人々が使った井戸です。大きな木を四角く削って、井戸枠を作っている珍しい例です。



④藤原京の掘立柱建物 (No.220 建物)
東西 5 間 × 南北 2 間の大きな建物です。四条大路に面して建っています。